



# 県労連情報

発行  
2025年  
10月24日

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 TEL026-217-9071 Fax026-217-9073

<http://kenrouren.assrv.com/>



2025

10.11(土) 13(月)

in 東京

## 全労連「レバカレ2025」初開催

10月11～13日、全労連が「レイバーユニオンカレッジ（レバカレ）2025」を開催しました。若者や女性をはじめ全国から700人超が参加し「対話と学び合い」が展開されました。71の手作り分科会では、ストや職場改善、組織化などの経験交流が行われ、参加者自らが学びを自分の糧とすることが重視されました。全ての企画で、お互いの尊重や心理的安全性の確保などルールを必ず確認しました。



米国レイバーノーツのエレン・フリードマンさんは、「労組の力は数と団結。それを作るのは対話しかない。少人数から始め、共通の理解をいかに得るかが大切」と強調。秋山議長も、次世代への運動継承やボトムアップ型組織の構築を呼びかけました。

最終日のパネル討論では、群馬県医労連や回転ずしユニオンなどが賃上げストの経験を報告。「行動で会社を動かせる」との実感や、「真の合意」の重要性が語られました。

黒澤事務局長は、「対話と学び合いで職場の仲間を増やす組合に」とまとめました。

長野県からは18人が参加しました。今後、参加者からの報告を連載していきます。

### 参加者の感想

高教組 唐澤佑作さん



1日目と2日目に参加しました。70もの分科会があるため、どの時間帯の枠でも何かしら自分が課題に感じる分科会が用意されているのはいいなと思いました。

一方で、満員で入れない分科会があったり、大人数の分科会だったりすると交流の機会が限られるため、その点は消化不良の部分もありました。

## 長野県最賃改定**1,061円**（+63円）でもまだまだ足りない 全国一律いますぐ**1500円**以上に

2025年度の長野県最低賃金改定が行われた10月3日、県春闘共闘委員会は通勤時間帯にあわせて、長野駅前以最賃改定周知宣伝を実施し、8組織、10人が参加しました。



最低賃金引き上げと中小企業支援策の拡充を求めてとりくんでいる議会請願・陳情のとりくみを報告。「最賃全国一律1500円」の実現を訴えました。

長野県の最低賃金は**1,061円**に引き上げられましたが、物価高騰の中ではまだまだ足りません。人間らしく暮らせる賃金をめざして引き続き声をあげていきましょう

## 長野県人事委員会が勧告 全世代で10,000円程度引上げ

月例給2.86%(10,853円)、ボーナス0.05月の引上げ

※詳細は後掲の高教組FAXをご覧ください。